

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3 年	2	必修
担当教員			
工藤 幸一			
B（経営学科）	S（専門科目）	SM（演習）	401（専門ゼミ・卒業論文等）

授業のねらい（概要）	専門領域における基礎的な研究能力の養成と研究意識の涵養、卒業後も自律・自立して学修できる態度を身に付けることを目的として、専門領域の問題や課題を追求し、発展させていくための研究の原理と方法の基礎を学ぶ。研究の位置づけと意義、研究のプロセス、研究の方法、研究の種類、研究の倫理などについて理解するとともに、情報収集や分析方法、文献検索や文献購読の方法、研究計画の立案と研究計画書の作成、研究論文の書き方や研究発表の仕方について学修する
授業計画	教科書「ベンチャー・マネジメント［事業創造］入門」を各自分担してレポート発表・質疑・応答 自己紹介（面接方式） レポート作成・発表の指導 専門書・資料の読み方の指導 卒業論文のための資料収集方法の指導 4年次の卒業論文のテーマ設定の指導 卒業論文に繋げるレポート作成・発表 就職活動について指導・アドバイス 予習（時間）：ゼミ生は、テキスト「ベンチャー・マネジメント［事業創造］入門」の各章のレポートを担当するので発表準備のための資料収集をし、レジュメを準備する。（120） 復習（時間）：各章のレポートを担当者は発表内容に対する質問や質疑応答などを総合的に検討しレポートを作成する。（120）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	講義や演習、特に卒業研究で培われた調べる力、考える力、表現する力、協働する力をさらに伸ばし、生涯にわたり学び続ける姿勢を身につける。 【身に付くスキル】 生涯学習力・情報活用能力
到達目標	卒論のテーマを設定する。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	なし
履修上の注意	教えてもらうという学修態度ではなく、自分自身で研究テーマを設定して特定の課題の理解を深めていき自分自身の研究目標を見つけようという姿勢が必要である。研究テーマは個別指導を行うが自分の生活の中の社会現象に関する興味、疑問などを調査・研究し積極的に発表していくことが必要であると同時に、他のゼミ員の考え方・意見を積極的に聞くという姿勢が必要である。こうしたことから毎回ゼミへの出席が絶対条件となる。ゼミの運営はゼミ員の自主性を尊重し、ゼミ員の自主的計画にもとづく現地見学、研修旅行なども実施したいと考えている。
成績評価の方法・基準	ゼミは遅刻、欠席しないことが絶対条件である。 ゼミにおける課題発表の内容（35％）・意欲（15％）・発言（15％）、提出レポート（35％）による成績評価をおこなう。
教科書	「ベンチャー・マネジメント［事業創造］入門」 著者名：長谷川博和著 出版社：日本経済新聞社 発行年：2010年 価格：3150円
参考書・教材	【参考書】適宜紹介する
備考	講義科目
教員との連絡方法	大学ドメインのメール、Mellyの併用。